



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自律貢献～

令和5年12月15日（金）No.32発行  
文責：松本 卓也

## “共育”を目指して ～2学期授業参観、学年・学級懇談会～

8日（金）、「2学期授業参観、学年・学級懇談会」を開催しました。授業参観では、1年生は「私たちの中にある差別心と向き合い、考えよう」、2年生は「自分の中にある熱や光、冷たさについて考えよう」、3年生は「私の将来を語ろう」のめあてで人権学習を公開しました。当日は、学校運営協議会員の6名の皆さまにもご参観いただき、



「子ども同士で発表をつなげていく等、今までなかったような人権学習だった。」  
「先生たちの体験を話されたことで、他人事ではなく自分の中に残ったと思います。」  
「修学旅行で水平社博物館に行かれたのは、いいことだと思う。」

等の感想をいただきました。また、

「自分の思いを話すことは難しいのに、はっきり言えて素晴らしい。」  
「子どもたちは成長するもの。どれだけ教師が信じて待てるかが大事。」  
「返しをきちんと言えていたので、もっと子ども主導でできたのではないか。」

等の貴重なご意見もいただきました。職員で共有し、一層の改善に努めたいと思います。学校運営協議会員の皆さま、ありがとうございました。学年・学級懇談会では、2学期の子どもたちの成長のようすを共有するとともに、今後、さらに伸ばして行ってほしいことへの共通理解を図りました。ご家庭と学校が同じ方向を向き、「共に子どもを育てていく」視点で3学期も教育活動を進めていきたいと考えております。保護者の皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



### 東陽中の未来を託す Part2 ～選挙運動頑張っています～

本日6校時に行われる立会演説会に向け、各候補者が選挙運動に取り組みました。登校時間や給食の時間での所信表明に加え、ポスターによるPRを行っています。「全員の個性を尊重できる学校にしたい」「時計を見ての行動ができるようにしたい」「自分から返事や挨拶ができるようにしたい」等々、学校生活をよりよくするための取組を一人一人の視点で訴えてくれています。人任せではなく、「自分が取り組むんだ！」という強い意志を感じました。



### 絵に描くことでふるさとへの愛情が 何倍にもなる Part2

11日（月）、八代こども美術展の審査が行われました。多くの作品の中、特選に3年のUさん、Mさん、1年のMさんが、入選に2年のTさんが選ばれました。ふるさと東陽への思いをキャンバスに表現した作品が評価されて、大変嬉しく思います。特選の作品は、来年1月30日（火）から開催される「第21回くまもと子どもの美術展」にて展示されます。【会場：県立美術館 ※HPにも掲載予定】力作を、ぜひご覧ください！また、「いっしょに読もう！新聞コンクール（日本新聞協会主催）」において、3年のMさん、2年のIさんが熊本県賞を受賞しました。多方面で活躍する東陽っ子です！



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）